

にちれん にほんこく しゅつけん
日蓮、日本国に出現せば、
によらい きんげん むな
如來の金言も虚しくなり、多
ほう しょうみょう 何
宝の證明もなにかせん。十方の
じょぶつ みこと もうご
諸仏の御語も妄語となりなん。
ほとけ めつご にせん ひやく にじゅうよねん がつ
仏の滅後二千二百二十余年、月
し かんど にほん いっさい せけんた
氏・漢土・日本に「一切世間多
おんなんしん いっさい せけん あだおお
怨難信（一切世間に怨多くして
しん がた ひと にちれん
信じ難し）」の人なし。日蓮なく
ば、仏語既に絶えなん。

(御書新版1849ページ・御書全集1514ページ)

通解

日蓮が日本国に出現しなければ、仏の金言
そらごと も虚言となり、多宝如来が「法華經は真実
た ほうによらい である」と言った証明も、何の役にも立た
ない。十方の諸仏のお言葉もうそとなるで
ある。

仏が亡くなられて二千二百二十余年の
あいだ 間、インド、中国、日本に「世間の人々に
てきたいしゃ 敵対者が多く、信ずることが難しい」と説
むづか きょうもん なん あ
かれる經文通りに難に遭った者はいない。

日蓮がいなければ、仏の言葉は、もはや
とだ 途絶えてしまったことであろう。

こうけい 後継の心で自分らしく輝こう かがや

よくわかる解説

みなさんこんにちは、サンです！ 今月も元気
いっぱい御書を研さんしていこう！

今回学ぶ「单衣抄」は、1275年（建治元年）、
大聖人に、单衣（裏地の付いていない着物）を供養
した夫妻に送られた御礼のお手紙です。

本抄ではまず、民衆救済のために「南無妙法蓮華
經」の題目を弘める中で、大聖人がさまざまに難に
遭ってきたことを挙げられます。そして、これらの
難は、法華經に示された、釈尊が亡くなった後に法
を広める人に大きな難が起こることを、身をもって
証明したものであると仰せです。

インドから中国、日本へ伝わってきた法華經。その長い歴史の中で、經文通り難に遭いながらも、法華經を持ち続けたのは大聖人ただ一人でした。また、大聖人がいなければ、仏の言葉も「法華經は真実である」と述べた多宝如来の証明も、うそになっていたと断言されます。

この大聖人の御精神を受け継いで広宣流布の闘争

つらぬ を貫いてきたのが、創価三代の会長です。初代会長の牧口先生、第2代会長の戸田先生、第3代会長の池田先生は、平和の連帯を世界192カ国・地域にまで広げたのです。

池田先生は語っています。「学会の前進も、どんな障魔にも退かなかつた。前へ前へと進んだ。だから勝ってきた。“何があろうと、一歩も退かない”——これが学会精神である。その人こそが、無限の勝利を得ることができる」

私たちのお父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんも、この戦いに連なつて広宣流布を進めてきたんだ。私たちも同じように、難に負けない強い心を受け継いでいきたいね！ とても大きなことに思えるかもしれないけれど、大切なのは、目の前の勉強や部活に自分らしく取り組むことなんだよ。そして、悩んだ時にはお題目で心を磨いて、諦めず

かべ にぶつかっていくことが大切なんだ。
こうけいしゃ 今月5日は「創価学会後継者の中」。後継の心を燃
かがや かして、自分らしく輝いていこう！